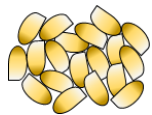


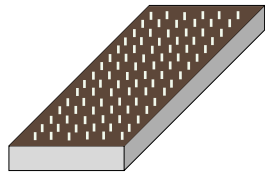
お米ができるまで

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
た おこし・代かき		みず かんり のうやくさん ぶ 水の管理・農薬散布 など					かんそう 乾燥・もみすり	
	なえ 苗づくり	た う 田植え				いね か 稲刈り		

お米は稲が実って収穫した物です。どうやって育つのでしょうか？



たね (種もみ)



なえ (苗)



た う (田植え)



くき かず ふ (茎の数が增える)



ほ で (穂が出てくる)



ほ みの (穂が実る)

お米ができるまで

た 田おこし



ふゆ あいだねむ 冬の間眠っていた田んぼの土を
ほ お 掘り起こします

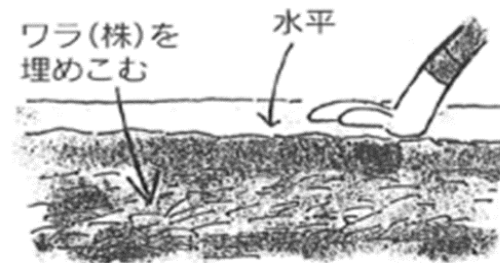
しろ 代かき



た あと た みず 田おこしの後、田んぼに水を入れて
つち あ たい 土とまぜ合わせ、平らにします

ポイント

つち たい 土を平らにすることで、
いね そだ 雑草が生えにくく、
稲が育ちやすくなります。



お米ができるまで

なえ 苗づくり



いくびょうばこ なえ そだ せんよう はこ
育苗箱(苗を育てる専用の箱)に
たね
種もみをまきます



なか め で
ビニールハウスの中で芽が出て
おお そだ
大きくなるまで育てます

ポイント

こめ たね ちよくせつ た
お米は、種(種もみ)を直接田んぼにまきません。
すこ おお べつ ばしよ そだ
少し大きく(10cm~15cmに)なるまで別の場所で育てます。

こめ お米ができるまで

た う 田植え



なえ そだ は まい い じょう
苗が12cmぐらいに育ち、葉が2枚以上になったら、
た う き なえ う
田植え機を使って苗を植えていきます。

お米ができるまで

みず かんり 水の管理



いね せいちょう き おん あ
稲の生長や気温に合わせて、
た みず ふか ちょうせつ
田んぼの水の深さを調節します。

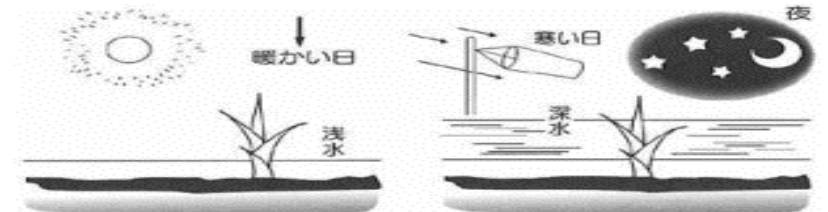
のう やく さん ぶ 農薬散布



いね びょうき がいちゆう まも
稲を病気や害虫から守るため、
ひつよう おう くすり
必要に応じて薬をまきます。

ポイント

てんこう あ た みず りょう か
天候に合わせて、田んぼの水の量を変え、
いね げんき そだ くふう
稲が元気に育つよう工夫しています。



お米ができるまで

いね か 稲刈り



ポイント

コンバインは、
いね か
稲を刈るだけでなく、
どうじ だっこく
同時に脱穀する
いね
(稲からもみだけをとる)
ことができます。

いね ほ きいろ
稲の穂が黄色になったら、
きかい
機械(コンバイン)を
つか か と
使って刈り取ります。

お米ができるまで

かん ぞう

乾燥・もみすり



しゅうかく かんぞう し せつ はこ き かい かんぞう
収穫した「もみ」は乾燥施設に運び機械で乾燥します。
かんぞう あと と のぞ
乾燥した後、「もみがら」を取り除きます。

しら
調べてみよう！

「もみ」と「もみがら」？

「もみ」から「白米(お米)」になるまで

「もみ」



「げん米」
まい



「白米(お米)」
はくまい こめ



しゅうかく

収穫した「もみ」からもみがら(皮)を取り除き「げん米」にします。

「げん米」の表面を削ると、おうちで食べている「白米(お米)」になります。